



さゆりっ子

No.1

文責 畠林一成

令和5年度 元気いっぱいスタート！

笑顔いっぱいの園児たちと令和5年度が始まりました。子どもたちは思い思いに春を満喫し、園庭を嬉しそうにかけ回っています。

今日までの半日保育では、新しい友だちや先生と少しずつ園生活に慣れようとしている園児の頑張っている姿がとても印象的でした。

園と家庭で築いていく「共創」の関係で

子どもを真ん中にして幼稚園と家庭が同じ方向でその子の成長を見守り、後押ししていただけるために何かお手伝いできないかと常々考えてきました。そして、いろいろと制限が続く中で直接、保護者の皆さんと双方向でお話できる機会を「誕生会」で設けることにしました。

具体的には「ドキュメンテーション」を活用します。先生方は日頃から子どもの成長を文字や写真で記録として残していきます。この「ドキュメンテーション」を少し掘り下げて、保護者の方に話題提供していきます。

具体的には昨年度3月の誕生会では3月生まれのM Mさん（当時もも組）とK Aさん（当時さくら組）を紹介しました。

M Mさん

成長の姿



2 / 24

朝の身支度を自分の力で行えるようになり、最近はお友だちと一緒にやるのが楽しい様子のMちゃん。Tさんに「シールぺったん、どれにする？このシールどうぞ!」とやりとりをしながら行っている。保育者だけでなくお友だちにも声を掛け、二人で考え合う姿に成長を感じました。

8月頃は



まだまだ同学年の子とのかかわりが少なかったころ。年中さんや年長さんの後について遊んでいました。必ず手をつないでいました。

まずは自分の身の回りのことにじっくりとかかわり、できるようになることから自己肯定感を高めてきました。その結果、先生からお友だちへと徐々に行動が広がって行きました。Mさんに応じた環境づくりを効果的に進めてくることができました。

K Aさん

成長の姿



2 / 21

自由遊びの時にお友だちが泥団子作りをしているのに興味をもったAさん。「おれもやってみたいな〜。」とAさんがぼそっと話したのを聞いていたお友だちが作り方を教えてくれることになった。

さっそくお友だちのまねをして作り始めました。

入園当初は



ひとり遊びが好きで、黙々と型抜きで遊んでいます。楽しいことに夢中になっています。

その時その時の子どもの姿からいいなと感じることを大事にし、Aさんが夢中になることを後押ししてきました。その結果、みんなとやりたいという思いにつながってきています。そして身支度も一人でできるようになってきました。

それぞれお子さんの姿を紹介したあと、おうちの方に感じたことをお話していただきました。おうちでの姿と重ね合わせてお話していただくことで、こんなに成長してきたんだなあ、その子に応じた環境をもって大事、もっと工夫できるかも...と園とおうちの方、両者にとってとても役立つ機会になったかと思えます。

このように、

今年の誕生会の園長のお話の時間は、お誕生月のお子さんの成長の姿を数名紹介させていただきます。その中で参加いただいている保護者のみなさまに自由にお話していただきたいと思っています。お互いにとってWin-Winになることを願っています。どうぞよろしく願いいたします。

あいさつロード ~ファミリー さゆり~ (4/7) <園長の心のつぶやき>

新しいお友だちが増えて、園門での送迎も新鮮な出会いの場になっている。

「おはよう!」「おはようございます。」お家の方と一緒に朝のあいさつを交わすことで園児との距離が毎回ちょっとずつ縮まっていく。さゆり幼稚園という大きなファミリーの一人として仲間、家族になっていくように思う。

そして、保護者の方々も是非この大きな輪の中に積極的に入ってきていただきたいと思う。せっかく同じ幼稚園に通うという出会いの場ができたのだから…。

その窓口も「あいさつ」。

幼稚園の前の道路ですれ違ったら、保護者の方々もまずは「おはようございます。」の声が広がってほしい。学年、クラスなんて関係なく、あいさつからつながってほしいと思う。 [めざせ!あいさつロード](#)



ことしもよろしく願いいたします。(園長)